



まちの話題



生きづらさを抱えた人へ

こころの健幸づくり講座「不登校・ひきこもりの親が幸せな理由～生きづらさを抱えた人と地域とのつながり～」が3月20日、中央生涯教育センターで開かれました。自身も不登校・ひきこもりの親としての経験を持ち、生きづらさを抱えた人への支援を行っている後藤誠子さん（笑いのたねプロジェクト代表）が講師となり、「まずは自分が幸せになることが苦しんでいる人の助けになる。当事者が周りにいたら、相談する場所へつなげてほしい」と訴えました。



1 日も早い復興願う

町赤十字奉仕団（氏家富士子委員長）は3月29日、2023年トルコ・シリア地震救援金として町内商業施設で募った救援金96,946円を、日本赤十字社岩手県支部金ケ崎町分区（高橋寛寿分区長）に寄託しました。その他団体や町の募金箱を含めた計213,392円の救援金は後日、日本赤十字社に送金されました。

【内訳】	
▶町赤十字奉仕団	96,946円
▶町民生委員児童委員協議会	24,058円
▶町社会福祉協議会	22,878円
▶町職員厚生会	61,864円
▶募金箱	7,646円
合計	213,392円

利用者110万人達成

金ケ崎温泉駒子の湯の利用客が3月27日、110万人に達しました。110万人目となり、記念の花束と無料パスポートを受け取った小野寺弘さん、恵子さん夫妻（一関市）は、「びっくりしている。毎月のイベントも楽しみでお湯も気に入っているのもまた来たい」と笑顔を見せました。



高橋町長に決意表明する菊池防犯隊長



犯罪のない安全安心なまちへ

町防犯隊の春の地域安全運動出動式が4月6日、町役場で行われました。式には隊員12人が参加。菊池康文隊長が高橋寛寿町長に決意表明を行い、「子ども、女性、高齢者の犯罪被害防止や鍵かけ励行を重点的にを行い、犯罪のない安全・安心な地域を実現する」と力強く誓いました。

住民意見の反映願う

町議会（伊藤雅章議長）は3月31日、町議会が昨年度に開いた「議会ほっとミーティング」で住民から聞き取った意見要望等を高橋寛寿町長と千葉和仁教育長に手渡しました。住民からの意見を受け取った高橋町長は「しっかり中身を検討し、住みやすいまちにしていきたい」と話しました。



保護者らに拍手で迎えられ、元気に入場する第一小の新入生



校内小学校で入学式 学校生活に胸躍らせる

小学校の入学式が4月8日、10日に町内5つの小学校で行われました。本年度は、金ケ崎小56人、第一小27人、三ケ尻小22人、西小7人、永岡小12人の計124人が入学。新入生の菊池結碧くん（第一小）は「学校の給食が楽しみ。勉強も頑張りたい」と学校生活に目を輝かせました。